

大型クラゲの出現状況(国際フェリー調査結果等)について-第2報-

1. 大型クラゲの出現情報

(1) 対馬海峡における国際フェリー(博多-釜山航路)による目視調査結果^{※1}

① 実施期間 令和5年9月5日

結果 対馬海峡では目撃されなかった。

（ 昨年は対馬海峡東水道のみの目視調査であったが、同時期の結果（東水道で0.0001個/100m²）より少ない。 ）

② 実施期間 令和5年9月20日

結果 対馬海峡では目撃されなかった。

（ 昨年は対馬海峡東水道のみの目視調査であったが、同時期の結果（東水道で目撃されなかった）と同じ。 ）

(2) 隠岐海峡における国内フェリー(七類-西郷航路)による目視調査結果^{※1}

① 実施期間 令和5年9月3日

結果 隠岐海峡では目撃されなかった。

（ 昨年同時期の結果（隠岐海峡では目撃されなかった）と同じ。 ）

(3) 日本沿岸水域における出現の確認^{※2}

- ・ 令和5年7月10日に長崎県新上五島町船崎郷定置網で出現を確認した（同定済み1個体、傘径50cm）：日本沿岸の定置網で今年初めての出現。
- ・ 令和5年8月21日に長崎県対馬市峰町志越定置網で出現を確認した（1個体、傘径70～80cm）：対馬の定置網で今年初めての出現。
- ・ 令和5年10月10日に青森県上北郡六ヶ所村沖定置網で出現を確認した（1個体、傘径40cm）：太平洋の定置網で今年初めての出現。

※2. NPO 法人水産業・漁村活性化推進機構の委託を受けて、一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた情報による。

過去に対馬の定置網で確認された日

平成21年 6月30日	}	日本沿岸水域で大型クラゲが大量出現した
平成22年 9月17日		
平成23年 9月29日	}	日本沿岸水域で大型クラゲの大量出現が なかった年
平成24年 7月24日		
平成25年 7月26日		
平成26年 8月 6日		
平成27年 9月15日		
平成28年 6月28日		
平成29年 7月 5日		
平成30年 6月12日		
令和 元年 6月13日		
令和 2年 6月16日		
令和 3年 6月15日		
令和 4年 7月12日		

2. 今後の調査計画等

今年は4年ぶりに対馬海峡における博多～釜山間の国際フェリーによる目視調査が再開されましたが、依然として東シナ海、黄海のフェリー目視調査は実施できないため、大型クラゲ発生海域の出現情報が大きく不足している状況です。今年は8月まで出現量が非常に少ない傾向で推移しましたが、8月下旬以降の調査でも対馬海峡、日本海沿岸～沖合にかけて大型クラゲはほとんど確認されず、出現量が非常に少ない傾向が続きました。特に、日本海の本州沿岸では、定置網による大型クラゲの確認がなく、津軽海峡を越えた太平洋の定置網で1個体だけ確認されたに留まっており、ほとんど出現が確認されていない状況です。

以上のことから、冬季に向けて大型クラゲは減少傾向に向かいますので、今後漁業被害を与える沿岸域への出現はほぼ起こらないと考えられます。しかしながら、韓国沿岸では7月、8月は非常に少ない傾向でしたが、その後漸増し、10月中旬時点では平年並以上の出現数になっていることから、今後山陰の沿岸等への散発的な出現の可能性があると考えられますので、引き続き日本周辺海域における大型クラゲの出現状況を把握し、出現状況に関する情報提供^{※3}を行ってまいります。

※3. 大型クラゲ出現状況調査の結果については、以下でお知らせしております。

国立研究開発法人水産研究・教育機構

大型クラゲ情報 URL : <https://www.fra.affrc.go.jp/kurage/>

最新情報 URL : https://jsnfri.fra.affrc.go.jp/Kurage/kurage_top.html

本件照会先（担当者）：

水産資源研究所 企画調整部門 亀田・瀬藤 TEL 045-788-7970/7976

水産資源研究所 水産資源研究センター 海洋環境部 渡邊 TEL 025-228-0587